

# クローズアップ

## 新年度 予算

### 庁舎整備事業

**1億1,668万円**

(総額16億4,000万円)

本庁舎の増築工事等を行い、地震災害時における庁舎の機能整備と長寿命化等を図るものです。



### 宅地分譲地整備事業

**7,203万円**

定住人口増を実現するため、若者や家族世帯を主な対象として、UIJターナーを呼び込むための住環境の整備を行うものです。



### 末吉総合体育館施設整備

**2億413万円**

建物が耐震基準を満たすことで、市民の安全確保につながります。



### 旧岩川高校の整備

**6億1,538万円**

(総額23億8,071万円)

岩川小学校改築部分と避難拠点・防災倉庫整備部分に分けての整備になります。



### 公営住宅整備事業

**10億1,792万円**

狭小、老朽化した大隅桜ヶ丘団地を解体し、新たに公営住宅及び共同施設を建設します。



### 農地耕作条件改善事業

**5,010万円**

大隅新田場地区における農地の区画拡大や暗渠排水整備などの耕作条件の改善を図ります。



# 令和2年度 予算のゆくえは

議案第27号

令和2年度一般会計予算

賛成多数 可決

## 災害時における庁舎機能の重要性

**問** 庁舎整備事業の計画内容は。

**答** 庁舎設計業務委託関係は、プロポーザル方式で基本設計業者を7月に決定。業務終了は令和3年2月末予定である。

造成工事関係は、庁舎増築敷地の地質調査を6月に終了し、造成工事は令和3年3月末までに終了予定である。



庁舎増設の現地調査

**問** 庁舎増改築の多目的ホールと議場の兼用の経緯は。

**答** 現議場は、傍聴席が高いところであり、高齢者や障がい者等が傍聴しにくいことや、地震・火災等の際に避難しにくいことが問題視されており、庁舎改築のあった他自治体を視察研修したところ、新しい議場はフラット型が主流であったので検討した。

また、現在のトイレは男女兼用が1カ所だけなので男女別トイレと障がい者用トイレの設置を検討している。

**問** 現議場の傍聴席等のフラット化とトイレ改修の費用額は。

**答** 補強工事を含めて概算で約8200万円である。

【渡辺議員より修正案提出】

賛成少数 否決

新型コロナウイルス感染症が日本全国、全世界で蔓延し、まだ終息の見込みもなく市内にも大きな影響が出ている状況を考

えると庁舎整備事業は先延ばしして、もう少し慎重に審議すべきである。また、本庁・支所機能再編計画もまだ十分に市民の理解を得ておらず、財部・大隅地区の市民の意見も十分反映すべきであるため庁舎整備事業費減額の修正案を提出する。

【付帯決議】

議場のあり方について、現議場の改修等で対応するのか、多目的ホールと兼用で市民開放型の議場にするのかは、議会・市民等の意見を十分聞き理解を得て決定すべきである。よって本委員会としては、次の事項が明確に示されるまでは「庁舎整備事業」の執行に留意されるよう決議を行う。

1. 議会・市民等への説明を行い、意見を十分聞き理解を得ること。
2. 人口減少対策や地域活性化事業等の積極的な推進策を示すこと。

議場のあり方に係る調査特別委員会（議長を除く議員19名）を設置しました。

## 市民の情報源コミュニティFM

**問** コミュニティFMの聴取率の調査等の内容は。

**答** 4月から5月を別途に約3千人程度を対象にアンケートを実施する。



SOO Good FM局

**問** 主な項目は。

**答** 聴いてる番組・よく聴いている時間・スポンサーについてどう思うか等色々な意見を調査したい。

**今後の旧岩川高校**

**問** 旧岩川高校の整備は。

**答** 岩川小学校改築部分と避難拠点・防災倉庫整備部分に分けての整備になる。

**問** それぞれの事業費は。次のとおりである。

(万円)

	事業費	うち解体費
岩川小学校改築	21億6,688	1億4,950
避難拠点・防災倉庫整備	2億1,383	1億4,715
総額	23億8,071	2億9,665



**市民が安心して使える体育館へ**

**問** 末吉総合体育館耐震補強工事費2億円の積算根拠は。

**答** 大競技場外壁補強及び、鉄骨筋交い補強・武道場壁等を補強する工事である。

**問** 補強内容は。

**答** 耐震判定会の審査により工事を行うものである。

**意見** 補修の維持管理は全体的な計画に基づく管理を行うように。

**桜ヶ丘団地の建て替え進捗状況**

**問** 工事の遅れはないか。

**答** 概ね予定どおり進んでいるが、新型コロナウイルス感染症の影響で、中国で生産する資材に納期の遅れがでているので今後非常に厳しくなることが予想される。



**地域資源の適切な保全管理の役割**

**問** 多面的機能支払交付金事業の活動組織が前年度より5減の35組織になっている理由は。

**答** 構成員の高齢化や書記・会計の人材不足のため、活動を終了した組織がある。

**意見** 活動組織の実情を把握し、支援することが必要である。

**令和2年度 水道事業会計予算**

**全会一致 修正可決**

本年度から上水道、簡易水道事業を統合し曾於市水道事業として効率的な経営体制の確立を図る。企業債は令和2年度見込みで21億2480万円になり、令和2年度も一般会計より6093万円5千円繰入れが必要となる状況である。

**【建設経済常任委員会より修正案提出】**

末吉国道10号線布設工事（推進工）の現地調査を行い、説明を求めた。末吉国道10号線を横断する先に、水道本管を布設する明確な根拠が無いため、配水設備改良費の工事請負費1億1760万円のうち末吉国道10号線布設工事（推進工）1千万円を減額する修正案を提出する。

# 第1回 定例会

会 期 令和2年2月14日～3月23日  
(39日間)

総合整備計画

全会一致 可決

## 議案第2号

### 辺地に係る公共的施設の総合整備計画策定

当該辺地は、平成27年度から辺地総合計画を策定し、市道の整備を進めてきたが、令和元年度末で計画が終了となる。継続的に整備すべき区間を有することから、今回、令和2年度から5年間の総合整備計画を新たに策定するものである。



(単位:千円)

辺地名	事業名及び事業内容	事業費 A	特定財源 B	一般財源 A-B	うち辺地債
古井・荒川内辺地 (令和2～6年度)	市道 荒川内・八ヶ代線 改良舗装事業 L=500m/W=5.0m	81,000		81,000	81,000
	市道 北俣・馬立線 改良舗装事業 L=150m/W=6.5m	26,000		26,000	26,000

## 議案第3号

### 辺地に係る公共的施設の総合整備計画変更

当該辺地は、平成30年度から辺地総合計画を策定し、市道2路線の整備を進めてきたが、新たな市道1路線の整備を追加するため総合整備計画を変更するものである。



(単位:千円)

凡例	
<span style="color: red;">—</span>	整備計画区間
<span style="color: blue;">—</span>	改良済区間
<span style="color: black;">—</span>	未改良区間

辺地名	事業名及び事業内容	事業費 A	特定財源 B	一般財源 A-B	うち辺地債
高塚・桐原・溝ノ口 (平成30～令和4年度)	市道 桐原・溝ノ口線 改良舗装事業 L=320m/W=6.0m	(104,400) 104,400		(104,400) 104,400	(104,300) 104,300
	市道 高塚線 L=690m/W=5.0m	(76,841) 76,841		(76,841) 76,841	(76,600) 76,700
	市道 馬水・高塚線 橋梁 1橋 L=30.2m(W=6.0m)	(237,150) 0		(237,150) 0	(237,100) 0

全会一致 可決

## 条例制定

手話を使用しやすい環境へ

全会一致 可決

## 議案第5号

### 手話言語条例の制定

手話が言語であるとの認識に基づき、手話の理解及び普及を図り、手話を使用しやすい環境を構築することにより、全ての市民が共生することができると地域社会を実現するため。

### 問 他の地方自治体の条例制定状況は。

**答** 令和2年1月29日現在、全国では301自治体において条例が制定されており、県内では本市が初めての自治体になる。

## 条例の一部改正

葬祭費の支給額が県内統一へ

全会一致 可決

## 議案第11号

### 国民健康保険条例の一部改正

県内の統一的な国民健康保険の運営方針として「鹿児島県国民健康保険運営方針」が作成され、葬祭費の支給額が2万円に統一されたため条例を改正するものである。

### 問 これまで3万円支給していたが1万円の減額分の取扱い。

**答** 市の一般会計により支給するため、これまでどおり3万円の支給である。

条例の一部改正

地域活性化のために

全会一致 可決

議案第9号

地域コミュニティ活性化推進条例の一部改正

小学校区や中学校区などの範囲において、自治会、町内会、NPO、企業、青年団など多様な主体が協働して地域課題の解決等に自主的・継続的に取り組んでいくための地域コミュニティ活性化推進計画の策定に伴い、関連する規定を改正するものである。

問 主な改正部分は。
答 地域コミュニティ協議会設立を目指すことである。

問 具体的にどの様に推進していくのか。

答 4月以降に各校区公民館長等を対象に説明会を開始し旧町に1カ所ずつ、3カ所にモデル地区の地域コミュニティ協議会設立準備委員会を設置したい。

市内在住者でも応募可能に

全会一致 可決

議案第14号

地域振興住宅条例の一部改正

地域振興住宅の建設及び空き家の整備等に関する規定を改正するものである。

問 追加する住宅は。

答 下岡団地(大隅)、片平団地(財部)である。

問 空き家人居条件の規定は。

答 市外に2年以上の住民登録条件を削除し、市内在住者でも応募できるように改正する。

無償貸付け

地域の活性化へ

全会一致 可決

議案第17号

財産の無償貸付け

令和2年4月1日から令和7年3月31日まで、旧岩北学校給食共同調理場を(株)グローバルハートに引き続き契約更新するものである。

問 事業内容は。

答 ケイ素ティーのインターネット販売で、令和元年は600万円の売上げ

がある。

市道路線の認定

全会一致 可決

議案第18号 市道路線の認定

路線名	地区名
立馬中通3号線	大隅町
大隅南団地線	大隅町

補正

議案第19号

令和元年度一般会計補正予算(第8号)

各事業の確定及び執行見込みによる増減が主なものである。

全会一致 可決

総務常任委員会所管分

「クリーンセンターの維持管理」

問 稼動状況は。

答 現在試験運転中で3月19日竣工予定である。

問 処理能力は。

答 一基当たり、従来よりも2t多い12tの処理が可能である。

問 耐用年数は。

答 現在9割出力でごみ処理をしているので、当初予定では15年だったが、20年は可能ではないかと試算している。

【コミュニティFM放送局の運営】

問 放送局運営負担金の執行残1千万円の今後の考え方は。

答 令和2年度は2500万円予算計算上しているが、市民のFMの聴取率調査や放送局長の選任も検討しての計上である。

文教厚生常任委員会所管分

【救急医療対策】

問 曾於地域救急医療協議会及び曾於地域医療確保対策協議会の実施状況は。

答 協議会は1回、曾於保健医療圏地域医療構想調整会議が4~5回である。

意見 この6年間曾於地区は救急医療対策への取り組みが全く進んでいない状況であり、市長主導による取り組みを強化すべきである。

**建設経済常任委員会  
所管分**

【プレミアム無し商品券好評】

**問** 補正の増減額は。

**答** 地域商品券発行事業のプレミアム無し商品券が好評であり750万円の補正増、思いやりふるさと寄附金推進事業で寄附額の50%以下に経費を削除するように総務省より指導があり、広告料の減額である。

り、工事発注が2月以降になった。

給付費5.5%の伸び

**全会一致 可決**

議案第20号

令和元年度

国民健康保険特別会

計補正予算(第5号)

保険税等の収入見込みや執行見込みによる増減である。

**問** 一般被保険者療

養給付金の増額は。

**答** 当初予算の伸び

率1.5%で計上してい

たが、5.5%の伸びで

あった。内容は、骨

折・脳梗塞・精神疾

患等の入院費の伸び

であり、単年度の特

別な事情である。

循環型社会形成推進  
地域計画の終了は

**全会一致 可決**

議案第24号

令和元年度

生活排水処理事業

特別会計補正予算

(第5号)

事業費の確定及び執行見込みによる増減である。

**問** 浄化槽市町村設

置事業の循環型社会

形成推進地域計画は

いつまでか。

**答** 令和4年3月31

日で終了する。

小・中学校LAN整備

**全会一致 可決**

議案第34号

令和元年度

一般会計補正予算

(第9号)

国の補正予算に  
応じた事業の追加が  
主なものである。

**【市債の追加】**

**問** 主な内容は。

**答** 市道の社会資本整備総合交付金事業と緊急災害防止対策事業、小・中学校校舎LAN整備事業である。

**【土木費国庫補助】**

**問** 繰越明許費の追

加が多いのは。

**答** 災害発生による事務量の多さである。

議決結果一覧

件名	議員名	結果																			
		重久昌樹	松ノ下いずみ	鈴木栄一	岩水昌豊	岩水昌昭	上村龍生	宮迫勝	今鶴治信	九日克典	伊地知厚仁	原田賢一郎	山田義盛	大川内富男	渡辺利治	海野隆平	久長登良男	谷口義則	迫杉雄	徳峰一成	
議案 第27号	令和2年度一般会計予算	○	○	○	●	●	●	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
議案内容	平成31年度当初予算に対して34億7,500万円、14.8%増で総額269億500万円の歳入歳出予算計上である。(P2参照)	賛成多数 可決																			
議案 第29号	令和2年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案内容	総額54億9,857万円の歳入歳出予算計上である。	賛成多数 可決																			
土屋議員は議長のため、表決には参加しない。 賛成「○」。賛成者のみを語る表決方法であるため、賛成者以外（反対者・態度保留者・棄権者等）は「●」としている。欠席「欠」。																					

区分	番号	件名	内容	結果
諮問	第1号	人権擁護委員候補者の推薦	現委員である永山たみ子氏の任期が令和2年6月30日をもって満了することに伴いその後任として山本ひとみ氏を推薦。任期は3年である。	適任
議案	第2号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定(財部町古井・荒川内辺地)	財部町古井・荒川内辺地の総合整備計画の策定。(P5を参照)	全会一致可決
	第3号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更(財部町高塚・桐原・溝ノ口辺地)	財部町高塚・桐原・溝ノ口辺地の総合整備計画の変更。(P5を参照)	全会一致可決
	第4号	宮崎県都城市との定住自立圏の形成に関する変更協定の締結	定住自立圏形成協定の変更。	全会一致可決
	第5号	曾於市手話言語条例の制定	手話言語条例を定めるもの。	全会一致可決
	第6号	曾於市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正	令和2年4月1日からの会計年度任用職員制度の導入に伴うもの。	全会一致可決
	第7号	曾於市職員の諸給与に関する条例の一部改正	令和2年度からの国の機関へ職員出向に伴う地域手当の新設に関する規定。	全会一致可決
	第8号	曾於市監査委員条例の一部改正	引用する条項において条ずれが生じたことに伴い関連する規定の改正。	全会一致可決
	第9号	曾於市地域コミュニティ活性化推進条例の一部改正	同条例に基づき策定した計画により、取組事項、認定基準等を定めるもの。	全会一致可決
	第10号	曾於市固定資産評価審査委員会条例の一部改正	引用する条項において条ずれが生じたことに伴い関連する規定の改正。	全会一致可決
	第11号	曾於市国民健康保険条例の一部改正	葬祭費の支給額が県内2万円に統一されたことに伴う一部改正。(P5参照)	全会一致可決
	第12号	曾於市有住宅条例の一部改正	住宅の用途廃止による規定改正。敷金の取扱いの規定等の改正。	全会一致可決
	第13号	曾於市営住宅条例の一部改正	公営住宅管理標準条例について修繕費用の負担等について改正。	全会一致可決
	第14号	曾於市地域振興住宅条例の一部改正	片平団地に1戸、下岡団地に1戸地域振興住宅を建設したことに伴う規定の改正。空き家入居条件が市内在住者でも応募できる規定の改正。(P6参照)	全会一致可決
	第15号	曾於市水道事業給水条例の一部改正	指定給水装置工事事業者の指定の有効期間が定められたことに伴う改正。	全会一致可決
	第16号	曾於市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の一部改正	水道事業統合により2つの基金条例の廃止と笠木簡易水道事業の設置条例の廃止。審議会の庶務を公営企業会計職員に改正する。	全会一致可決
	第17号	財産の無償貸付け	(株)グローバルハートへの無償貸付け(P6参照)	全会一致可決
	第18号	曾於市道路線の認定	宅地分譲整備事業で整備した坂元地区及び大隅南地区の市道認定。	全会一致可決
	第19号	令和元年度曾於市一般会計補正予算(第8号)	予算総額から5億2,484万7千円減額するもの。	全会一致可決
	第20号	令和元年度曾於市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	予算総額に1億3,769万2千円追加するもの。	全会一致可決
	第21号	令和元年度曾於市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	予算総額から1,908万5千円減額するもの。	全会一致可決
	第22号	令和元年度曾於市介護保険特別会計補正予算(第4号)	予算総額から1,710万7千円減額するもの。	全会一致可決
	第23号	令和元年度曾於市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	予算総額から1,184万2千円減額するもの。	全会一致可決
	第24号	令和元年度曾於市生活排水処理事業特別会計補正予算(第5号)	予算総額から2,589万4千円減額するもの。	全会一致可決
	第25号	令和元年度曾於市笠木簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)	予算総額に17万7千円追加するもの。	全会一致可決
	第26号	令和元年度曾於市水道事業会計補正予算(第5号)	執行見込みによる減額と国庫補助金を減額するもの。	全会一致可決
	第28号	令和2年度曾於市国民健康保険特別会計予算	予算の総額を54億9,857万3千円定めるもの。	全会一致可決
	第30号	令和2年度曾於市介護保険特別会計予算	予算の総額を56億4,027万6千円定めるもの。	全会一致可決
	第31号	令和2年度曾於市生活排水処理事業特別会計予算	予算の総額を1億1,737万4千円定めるもの。	全会一致可決
	第32号	令和2年度曾於市水道事業予算	施設整備は、老朽管路の更新が主なものである。	全会一致修正可決
	第33号	令和2年度曾於市公共下水道事業会計予算	今年度より特別会計から公営企業会計へと移行するもの。	全会一致可決
	第34号	令和元年度曾於市一般会計補正予算(第9号)	歳入歳出予算総額に2億5,301万4千円追加するもの。	全会一致可決
	第35号	令和元年度曾於市水道事業会計補正予算(第6号)	水道管破損による損害賠償請求のため委託料が発生したものの。	全会一致可決
	第36号	令和元年度曾於市一般会計補正予算(第10号)	歳入歳出予算総額に2,138万9千円追加するもの。	全会一致可決